



TITLE:

観測帳

AUTHOR(S):

中村, 要

CITATION:

中村, 要. 観測帳. 天界 1931, 11(124): 388-388

ISSUE DATE:

1931-07-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161693>

RIGHT:

観 測 帳

花山天文臺 中 村 要

小遊星 704 インテラムニア 此の小遊星は8月22日ベガサス座で衝になる。1910年に Teramo の Cerulli (同氏発見の唯一の星) が寫真で発見した番號の新しい割合には明るい小遊星である。今年の衝は 9.6 等で撮影の計算が出来て居るから位置は確である。1925年分點

| | | | | |
|-------|-----|-------|------|----|
| 8月 7日 | 22時 | 10.7分 | 北10° | 7' |
| 15 | 22 | 4.3 | 10 | 32 |
| 23 | 21 | 57.4 | 10 | 43 |
| 31 | 21 | 50.4 | 10 | 41 |

小遊星 1930 FB. 昨1930年3月19日にハイデルベルヒ天文臺のラインムートが発見した赤緯運動の大きかつた此の小遊星は5月25日まで観測された。Bohrmann の計算した軌道は軌道面傾斜25度。離心角11度。平均運動1013秒といふ面白い軌道を示して居る。今年8月1日再び接近するが光度は16—17等と計算されて居るので観測は困難であらう。

316 箇の新變光星 獨逸 Sonnenberg の Hoffmeister 氏は近年寫真法で選定された各部分の連續寫真を撮影し。極めて多數の新變光星を續々と発見して居るが最近 A.N. 誌 5791 號に 316 箇の新発見を發表した。極大光度11等以上のもの71箇と11等以下15等の極大光度を有する 245 箇とあり、何れの星にも變光種類の見込みが記されて居る。最初の71箇の中には8—9等星が相當多いから素人の觀測に適當な星も少くない。

ユクツル天文臺の小遊星觀測 ベルジウ

ムの Uccle 天文臺は1924年から小遊星觀測を始めた。此の仕事の爲に特に購入した器械はツァイス製の30センチ天體寫真儀である。寫真玉は口径30センチ。焦點距離 150 センチのもので寫野は9度平方。多分ベツプル玉らしい。指導望遠鏡には口径13センチ焦點距離195センチの眼視望遠鏡をつけて居る器械部は極軸の曲つた獨逸型赤道儀である。最近に著しい活動を始めたので數多くの新小遊星を発見して居る。觀測者は Delporte 氏が主で時に Reneax 氏が撮影して居る。位置の計算方法には三つの比較星を使い、Dependence 法で計算してゐる。

大寫眞鏡玉 昨年中頃に自分で試作した11センチ寫眞鏡玉が口径の點で不満であるので昨年末から大口徑寫眞鏡玉を製作する爲に種々の調査を急いで居たが、とにかく私費で口径20センチの四枚玉、ベツプル型の廣角鏡玉を作る爲の硝子を購入する費用が得られたので五月末に注文した。口径は豫定より大きく約23センチのものが出来る豫定であるから。來年始めに硝子が着いて來年の中頃に出来上つたなれば、東京天文臺の20センチ、ブラシアー玉よりも大きな東洋第一、世界で第十位を下らない寫眞玉が出来上る事になる。レンズの研磨には心配はないが、たゞ自分で心配なのは私費で無理して作るのであるから手間賃は無料としても材料費や寫眞器の大きな金具等が相當高價な爲に思つた通り仕事が進行出来るかどうかである。